

技術開発事例

共同研究 絣模様とくずし柄を併用した新デザイン織物の開発

【共同研究先】

藤貫株式会社, 岩田織物

【目的】

企業では、自社ブランドの結城紬展開をすすめており、全国各所での自社展示会を年数回行っている。このため新デザインの結城紬の開発を積極的にすすめている。

結城紬における伝統的な柄として、「くずし柄」と「絣」があるが、その併用による柄の開発を行うこととした。

あわせて、企業ではコストダウンを図るために、糸の太さ、絣作製の手間、製織の手間についても省力できる柄を目指すこととした。

【内容】

くずし柄とは、図1のようなもので、経糸と緯糸を一本ずつ交互に配し平織することで得られる織模様である。男物着尺に多く用いられる。

【くずし柄の応用シミュレーション】

経糸と緯糸の配し方を変え、くずし柄の織模様をシミュレーションし、新デザインへの応用を検討(図2-6)。

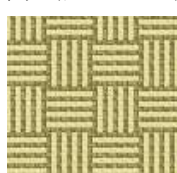


図1

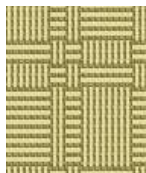


図2

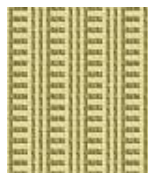


図3

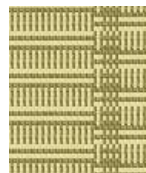


図4

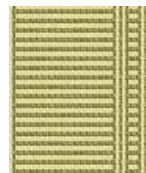


図5

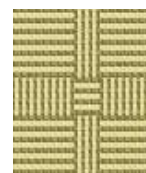


図6

[デザインアイデア]

くずし柄の緯糸に絣を入れ、くずしの市松部分の一部を強調して見せる。

これを反物全体に散らすことで、くずし柄の単調さの中にポイントをつけた反物とする。

[シミュレーションと試作]

図6のくずし柄を応用し、そこに絣を入れたデザインでシミュレーションと試作を行った。



図6のくずし柄の応用



ヨコ絣を入れたシミュレーション

[試作]



(部分)

【結果】

くずし柄は配糸を工夫することで反物全体に様々な模様を得ることができるが、反面、無地風に見えるため単調なものとなりがちである。

今回絣を入れることで、全体に模様が有り、かつ、絣がポイントとなりリズムのある反物としてデザイン的に付加価値が高いものとなった。これにより、女性向けの着尺柄とすることができた。

また、絣作製の手間や織る手間を省力するために、絣部分はよこ糸のみで非常に少量で済ませることができるデザインとした。

【活用の可能性】

くずし柄は男物着尺に多く用いられるが、今回よこ絣を入れることで女性向けの柄として発展させることができたため、今後、くずし柄をベースにした男女ペアの着尺という販売展開も可能性があると考えられる。

基礎となった事業

平成21年度 オンリーワン技術開発支援事業(共同研究)

テーマ名「絣模様とくずし柄を併用した新デザイン織物の開発」

担当部門

紬技術部門

主任

石川 章弘

tel : 0296-33-4154